

満月 (1949)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1949/07/25

【解説】

舟橋聖一の同名長編小説を八木澤武孝が脚色し田中重雄が監督した。純朴な百姓男が芸者にかかる一途な愛を描く。

東京で男に振られた芸者のかん子は、知り合いを頼って市の瀬村に疎開してきた。妻を亡くし一人娘を育てる葉三の家の離れで寝泊まりすることになったかん子は、自然に触れることで元気を取り戻していく。葉三はかん子に愛を告白し、かん子も彼の優しさに打たれ、二人は結婚することに。しかし都会で芸者をしてきたかん子にとって、百姓生活はつらく退屈なものであり、彼女は家出して東京で再び芸者として座敷に上がるのだった。いい仲になった役者と湯本へ旅行に出かけたかん子は、そこで偶然葉三の弟と会って嫌みを言われてしまう。

【クレジット】

監督 田中重雄

企画 加賀四郎

原作 舟橋聖一

脚本 八木澤武孝

撮影 山崎安一郎

美術 高橋康一

音楽 斎藤一郎

出演 花柳小菊

藤田進

藤原釜足

市川笑猿

近松里子

水原洋一